

平成29年1月10日号（第169回）

阿伎留通信

公立阿伎留医療センターは、医の心を重んじ、患者の生命と健康と生活の質を考える良質の医療を実践し、地域医療の最適化に努力します。

あけましておめでとうございます。「阿伎留通信」は本年も皆さまの健康に役立つ情報を発信していきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。



今回の阿伎留通信は、

－「地域包括ケア病棟のご紹介」－

をテーマに4階西病棟の薬袋 知子看護師長よりお話しさせていただきます。

当医療センターでは地域の皆様に安心して生活していただけるよう、「地域包括ケア病棟」を平成28年7月、4階西病棟に開設いたしました。

- ・病床数： 43床（うち有料個室 5床）
- ・スタッフ： 病棟責任医師1名、各科担当医制
看護師17名、看護補助者6名
専従リハビリテーション技師、
専任医療ソーシャルワーカー1名



地域包括ケア病棟とは

急性期医療を終了し、すぐに在宅や施設に移行するには不安のある患者様に対し、在宅復帰に向けて医療管理、看護、リハビリを行うことを目的とした病棟です。医師、看護師、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカー、薬剤師、管理栄養士等の多職種で協力し、在宅復帰に向けて支援しています。



入院対象について

在宅あるいは在宅強化型介護老人保健施設、特別養護老人ホームに復帰する予定がある方であればご利用できます。具体的に次のような患者様が対象となります。

1. 入院治療により症状が改善したが、もう少し経過観察が必要な方
2. 入院治療により症状が安定し、在宅復帰に向けてリハビリテーションが必要な方

主治医の判断により、患者様やご家族様へ提案いたします。ご了解いただいた場合、地域包括ケア病棟へ移動するための手続きを開始します。

また、いつもは在宅介護をしている介護者の疲労の蓄積や病気、冠婚葬祭等で一時的に介護が困難になった場合、医療保険を利用して入院する「レスパイト」も受け入れております。受入可能な方は、介護保険によるショートステイが利用困難な褥瘡処置、たん吸引、麻薬の管理、胃瘻・腸瘻等経管栄養、インスリン注射（強化療法）、気管切開、ストマ管理、在宅酸素等の医療的管理をされている方です。かかりつけ医、ケアマネージャー等を通しご相談ください。

入院期間について

入院期間は状態に応じ調整いたしますが、最大60日が限度です。患者様個々の課題に対するゴール設定を多職種で考えながら、退院の目安を決めています。



地域包括ケア病棟の特徴

患者様・ご家族様と共に退院後の生活のイメージが出来るよう支援しています。ご家族様には、リハビリや生活（食事・排泄・移動状況等）の見学、介護指導をさせていただきます。

患者様が住み慣れた地域で暮らし続けていくため、患者様・ご家族様の意向に沿いながら医療的課題、生活・介護的課題、地域（かかりつけ医・ケアマネージャー・訪問看護等）との連携に取り組んでいます。

新しい病棟ですが、あたたかいご支援とご指導をよろしくお願いいたします。



阿伎留通信については、第1回から最新号まで、公立阿伎留医療センターのホームページで御覧になることができます。ホームページアドレス(<http://www.akiru-med.jp>)